

筑波大学法科大学院

令和5年度入学者選抜 法学未修者コース筆記試験

未修者コースの筆記試験では、読解力、論理的思考力、分析力、論述能力をみます。法律の専門知識を問うことはありませんが、法的分野に関連する問題が出ることはあります。

《出題趣旨》

【第1問】

本書は、暇と退屈をテーマに人間の生き方を模索した哲学書である。設問で引用した文章は、「定住革命」という仮説を紹介しながら、人間が定住するようになったが故に退屈が宿命づけられることになったという筆者の考えが述べられている部分である。このような筆者の主張を十分に理解した上で、それを適切に説明することができるかどうか、について問うた。

【第2問】

日本社会が「集団主義社会」であることの意義について、数多くの実験研究を踏まえた原文筆者の主張は、今後の日本社会のあり方を考察する上で重要なヒントを提供するものといえる。このような筆者の主張を十分に理解した上で、それを適切に説明ないし論じることができるかどうか、について問うた。

以 上